

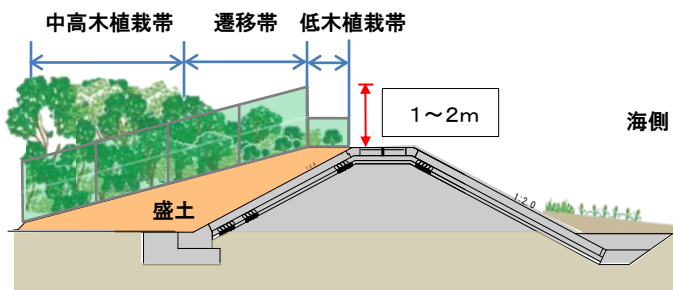


山元海岸の『緑の防潮堤』

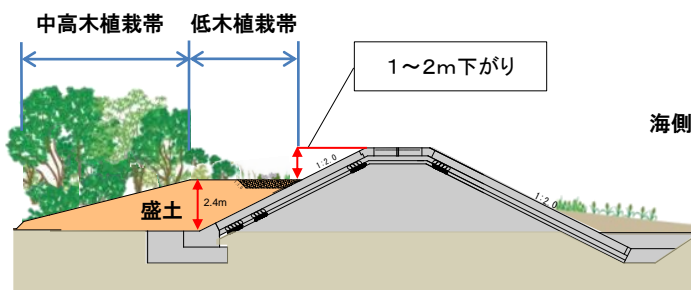
山元海岸中浜地区で『緑の防潮堤』の試験施工の取り組みを行っています。

防風柵ありで盛土の高さが堤防と同じ高さとするものと、防風柵なしで堤防に防風柵と同様の効果を期待し、盛土の高さが堤防の高さから1～2メートル下がりとする方法とで、防風柵の効果を比較するものです。

【防風柵あり】



【防風柵なし】



▲防風柵あり
(山元海岸中浜地区『緑の防潮堤』)



▲防風柵なし
(山元海岸中浜地区『緑の防潮堤』)

低木植栽帯

【常緑低木】

- ・津波エネルギーの減衰
- ・背後の中高木帯に対する防風効果
- ・飛砂・潮風害・寒風害に十分耐える高密度で樹高が低い海側林帯の形成

遷移帯

【常緑中高木+常緑低木】

- ・津波エネルギーの減衰
- ・背後の中高木帯に対する防風効果
- ・風衝林型(海からの気象ストレスにより汀線側の樹高が低く、内陸に向い徐々に樹高が高くなる林型)の林帯を促進

中高木植栽帯

【常緑中高木+クロマツ】

- ・発達した根系による堤防法尻部の保護
- ・背後の海岸防災林との連続性確保
- ・十分な幹径を有する樹木の根系発達に必要な植栽基盤厚の確保(2.4m以上)

『緑の防潮堤』

コンクリートで被覆された堤防の法面に盛土をおこない植栽する、いわゆる『緑の防潮堤』は、樹林と盛土が一体となって堤防の洗掘や被覆工の流出を抑制する粘り強い構造の堤防です。





植栽した代表的な樹種のご紹介



低木植栽帯 [常緑低木]



マサキ



シャリンバイ



トベラ

植栽工事中です



マサキ、シャリンバイ、トベラ、アキグミ

遷移帯 [常緑中木高木+常緑低木]



マサキ



シャリンバイ



ヤブツバキ



タブノキ

マサキ、シャリンバイ、トベラ、アキグミ、シロダモ、モチノキ、ヤブツバキ、タブノキ、スダジイ、カシワ

中高木植栽帯 [常緑中高木+クロマツ]



ネズミモチ



シロダモ



タブノキ



クロマツ

ネズミモチ、シロダモ、モチノキ、ヤブツバキ、タブノキ、スダジイ、カシワ、ヤマザクラ、コナラ、クロマツ



今後も無事故で植栽工事を完成できるようつとめて参ります。



浜辺に生息する植物

ハマナテシコ

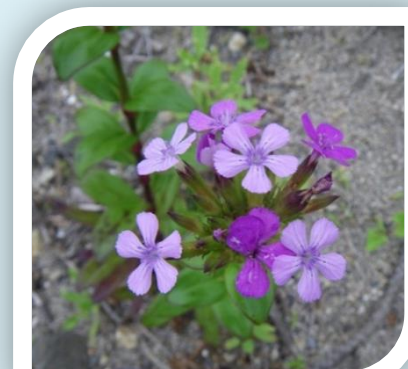
海岸の崖、岩場、砂地に生育し、本州から沖縄に分布します。海外では中国にも分布します。

莖は株状になっており、下部は木質化し、高さは20~50cmになります。

葉は厚く艶があり両面とも無毛です。

夏から初秋にかけて、紫色の小さなギザギザの花が咲きます。

別名、藤撫子(ふじなでしこ)とも呼ばれます。



ナテシコ科 花期 6月~11月